

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 2025年 第14週（3月31日～4月6日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症	報告なし		
四類感染症 レジオネラ症	2人	病型	肺炎型 2人
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1人	菌種	<i>Enterobacter</i> sp.
急性脳炎	1人	病原体	不明
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1人	血清群	A群
侵襲性肺炎球菌感染症	3人		
梅毒	13人	病型	早期顕症Ⅰ期 4人、 早期顕症Ⅱ期 6人、 無症状病原体保有者 3人
百日咳	23人	年齢階級	5歳 1人、6歳 1人、 7歳 1人、8歳 1人、 9歳 1人、10歳代 12人、 20歳代 1人、40歳代 3人、 60歳代 1人、70歳代 1人

## ※2025年第14週から定点医療機関の指定数が変更となりました。

感染症発生動向調査実施要綱の一部改正（令和7年3月14日通知）等に伴い、第14週からの定点医療機関数は以下のとおりとなりました。

（旧）インフルエンザ/COVID-19 定点指定数：261 →（新）急性呼吸器感染症定点指定数：176

（旧）小児科定点指定数：164 →（新）小児科定点指定数：111

## 〈定点把握疾患の患者情報〉

**新型コロナウイルス感染症**（3.31→2.68：図1）の定点当たり報告数は、第7週以降緩やかな減少傾向にある。基幹定点における**入院患者**の報告は22人（前週30\*人）であり、年齢階級別では、70歳以上が約68%であった。**伝染性紅斑**（1.43→0.80：図2）の定点当たり報告数は、前週と比較して減少したものの、やや多い状況にある。**感染性胃腸炎**（8.82→6.86：図3）の定点当たり報告数は、第12週以降減少傾向にあるものの、過去4年の同時期と比較するとやや多い状況にある。眼科定点報告疾患では、**急性出血性結膜炎**12人、**流行性角結膜炎**26人の報告があった。基幹定点報告疾患では、**マイコプラズマ肺炎**5人、**感染性胃腸炎**（ロタウイルスに限る）1人、**インフルエンザ（入院）**5人の報告があった。

## 〈急性呼吸器感染症定点医療機関へのお願い〉

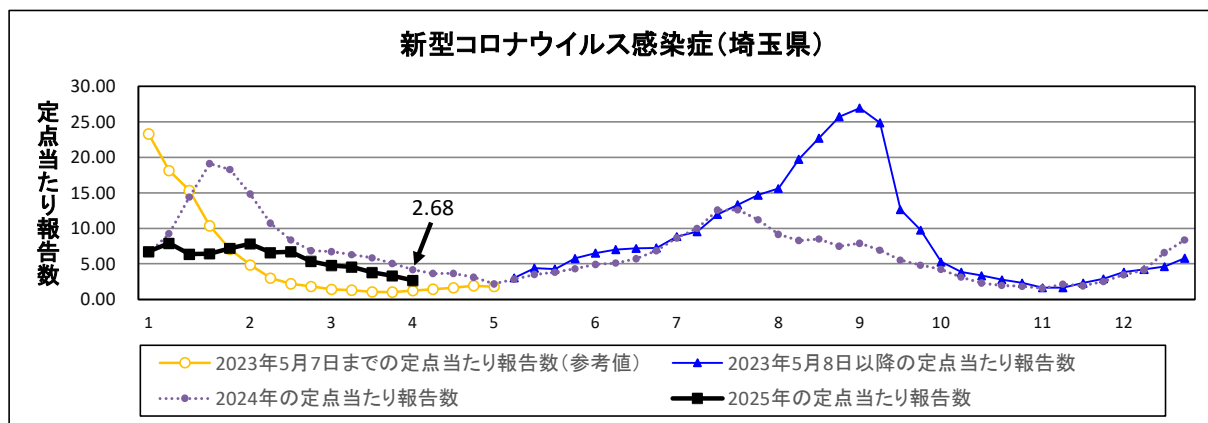
令和7年4月7日から急性呼吸器感染症が新たに5類感染症に追加されました。初回報告日は4月14日（月）となっておりますので、同定点に指定されている医療機関におかれましては、ご協力を賜りますようお願いいたします。なお、急性呼吸器感染症の動向については、第15週以降本報に掲載いたします。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト（URL：<https://id-info/ihsgojp/>）で御覧になれます。

\* 遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第14週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 伝染性紅斑の定点当たり報告数の推移

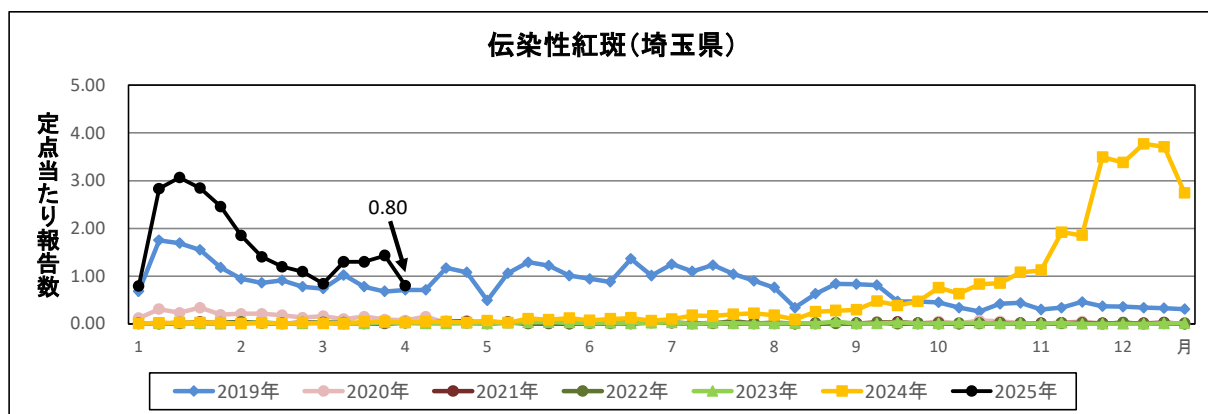
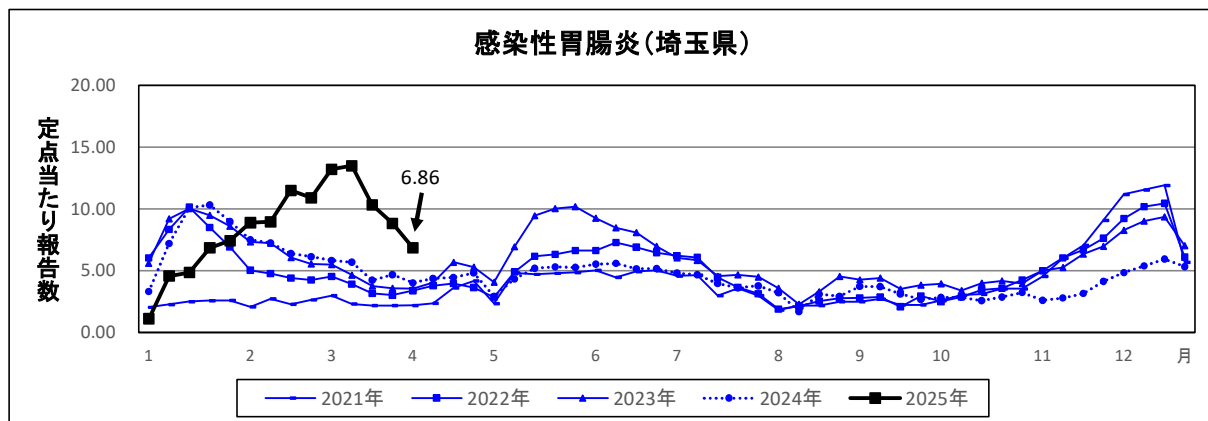


図3 感染性胃腸炎の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第14週)

(2025年4月8日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症		13			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎		6	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	21
つつが虫病		1	レプトスピラ症		
デング熱			ロッキー山紅斑熱		
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢		3	侵襲性肺炎球菌感染症	3	55
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		2	水痘(入院例に限る)		4
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	31	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	13	120
急性脳炎	1	12	播種性クリプトコックス症		2
クリプトスポリジウム症		1	破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		3	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	19	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2
後天性免疫不全症候群		13	百日咳	23	202
ジアルジア症			風しん		
侵襲性インフルエンザ菌感染症		8	麻しん		5
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		

累計は診断日で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2025年第14週

3月31日~4月6日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1	感染症	感染症																		
全 県	報告数 236	467	58	31	247	762	47	3	89	35	2	13	12	26	-	-	5	-	1	5	22	
	1.36	2.68	0.52	0.28	2.23	6.86	0.42	0.03	0.80	0.32	0.02	0.12	0.28	0.60	-	-	0.42	-	0.08	0.42	1.83	
朝 霞	報告数 34	74	3	1	19	68	7	-	5	1	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	4	
	2.27	4.93	0.30	0.10	1.90	6.80	0.70	-	0.50	0.10	-	-	-	-	-	-	2.00	-	1.00	-	4.00	
鴻 巣	報告数 20	55	8	4	30	44	2	-	9	2	-	1	-	9	*	*	*	*	*	*	*	
	1.67	4.58	1.14	0.57	4.29	6.29	0.29	-	1.29	0.29	-	0.14	-	3.00	*	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	報告数 9	5	2	2	40	1	-	4	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	2.25	1.25	0.67	0.67	0.67	13.33	0.33	-	1.33	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	
秩 父	報告数 3	5	1	-	2	1	-	-	-	-	-	1	*	*	-	-	-	-	-	-	1	
	0.75	1.25	0.33	-	0.67	0.33	-	-	-	-	-	0.33	*	*	-	-	-	-	-	-	1.00	
本 庄	報告数 4	9	-	1	2	-	1	-	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	1.00	2.25	-	0.33	0.67	-	0.33	-	1.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00	
熊 谷	報告数 6	41	-	1	4	53	2	-	15	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	0.67	4.56	-	0.20	0.80	10.60	0.40	-	3.00	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00	
加 須	報告数 2	7	2	-	4	-	-	-	2	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	
	0.40	1.40	0.67	-	1.33	-	-	-	0.67	0.67	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-	-	
春 日 部	報告数 12	16	3	4	20	52	1	-	6	1	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	2.00	2.67	1.00	1.33	6.67	17.33	0.33	-	2.00	0.33	-	0.33	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
幸 手	報告数 15	41	3	-	14	23	1	-	3	1	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	1.67	4.56	0.60	-	2.80	4.60	0.20	-	0.60	0.20	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	報告数 7	6	1	-	3	36	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
	1.75	1.50	0.33	-	1.00	12.00	-	-	0.67	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	
草 加	報告数 17	43	-	-	8	39	3	-	4	2	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	1.55	3.91	-	-	1.14	5.57	0.43	-	0.57	0.29	-	0.14	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
狭 山	報告数 16	35	7	3	28	35	9	-	10	2	-	-	11	5	-	-	1	-	-	-	1	
	1.33	2.92	0.70	0.30	2.80	3.50	0.90	-	1.00	0.20	-	-	2.20	1.00	-	-	1.00	-	-	-	1.00	
南 部	報告数 5	20	8	-	21	29	1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	2	
	1.00	4.00	2.67	-	7.00	9.67	0.33	-	0.67	-	-	0.33	-	-	-	-	2.00	-	-	-	2.00	
川 越 市	報告数 3	15	1	-	10	23	3	1	3	4	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	0.33	1.67	0.20	-	2.00	4.60	0.60	0.20	0.60	0.80	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	報告数 11	12	-	2	5	30	3	-	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	1.38	1.50	-	0.40	1.00	6.00	0.60	-	1.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	
川 口 市	報告数 19	29	2	2	14	54	3	-	3	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	
	1.36	2.07	0.25	0.25	1.75	6.75	0.38	-	0.38	-	0.13	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	1.00	
さいたま市	報告数 53	54	17	11	61	235	10	2	11	14	-	5	1	7	-	-	-	-	-	-	2	
	1.23	1.26	0.61	0.39	2.18	8.39	0.36	0.07	0.39	0.50	-	0.18	0.11	0.78	-	-	-	-	-	-	2.00	

( - : 0.00 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

4月

8日

16:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)	報告患者数																				
	年齢別 (2025年第14週 3月31日~4月6日)																				
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ #1	236	3	3	8	6	7	5	15	16	16	16	13	29	23	16	22	12	6	5	5	10
新型コロナウイルス感染症	467	5	7	21	9	10	7	4	1	2	1	3	16	14	62	42	45	74	44	49	51
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~						
RSウイルス感染症	58	9	9	17	17	3	1	-	-	-	-	1	1	-	-						
咽頭結膜熱	31	-	-	8	5	4	4	4	1	1	-	2	1	1	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	247	-	1	5	7	21	29	45	25	25	24	20	34	1	10						
感染性胃腸炎	762	1	42	79	74	59	78	78	66	62	41	34	83	14	51						
水痘	47	-	1	-	-	1	2	-	3	5	4	12	18	1	-						
手足口病	3	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	89	-	1	3	5	15	9	15	20	8	8	4	1	-	-						
突発性発しん	35	1	6	18	6	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
流行性耳下腺炎	13	-	-	-	-	2	1	1	1	3	1	2	2	-	-						
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	12	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	4	1	2	1	1	
流行性角結膜炎	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	4	8	4	3	2	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	5	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	5	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
新型コロナウイルス感染症(入院)	22	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	2	2	15				

※ 表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第12週 (3月17日～3月23日)

令和7年4月9日

## <全国情報>

**インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患**:インフルエンザの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は新潟県(5.02)、長野県(4.80)、沖縄県(4.20)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は122例と前週と比較して減少した。都道府県別では37都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(1例)、1～9歳(35例)、10代(14例)、20代(3例)、30代(5例)、40代(4例)、50代(6例)、60代(7例)、70代(16例)、80歳以上(31例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は茨城県(5.28)、長野県(5.18)、福島県(4.88)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,469例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(38例)、1～9歳(33例)、10代(11例)、20代(14例)、30代(20例)、40代(25例)、50代(86例)、60代(131例)、70代(375例)、80歳以上(736例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの)**:RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山口県(3.81)、鹿児島県(3.30)、愛媛県(2.72)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.78)、福井県(0.72)、長崎県(0.53)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は茨城県(4.53)、富山県(3.97)、北海道(3.76)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(19.14)、愛媛県(16.83)、宮崎県(15.92)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.25)、奈良県(0.24)、青森県(0.22)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福島県(1.79)、栃木県(1.79)、青森県(1.54)、北海道(1.47)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は山形県(0.08)、島根県(0.04)、富山県(0.03)、石川県(0.03)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.13)、大分県(0.11)、福井県(0.08)である。

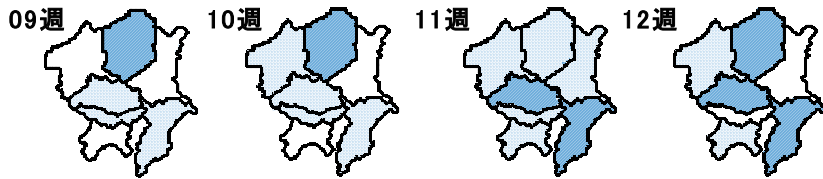
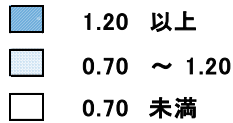
**基幹定点報告疾患**:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は福井県(1.00)、青森県(0.83)、鳥取県(0.80)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で増加した。26都道府県から96例報告があり、年齢群別では0歳(2例)、1～4歳(23例)、5～9歳(57例)、10代(13例)、60代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2025年 第12週(3月17日～3月23日):通巻第27巻 第12号 より

## <関東情報>

伝染性紅斑の定点当たり報告数は、栃木県(1.79)、埼玉県(1.30)、千葉県(1.22)からの報告が多い。

### 伝染性紅斑



2025年 12週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	9,714	3,124	182	290	193	509	445	810	695
	定点当たり	1.98	2.06	1.52	3.82	2.30	1.95	2.18	1.94	1.97
新型コロナウイルス感染症	報告数	15,872	5,061	634	340	313	988	891	966	929
	定点当たり	3.23	3.34	5.28	4.47	3.73	3.79	4.37	2.31	2.63
RSウイルス感染症	報告数	3,663	572	40	38	35	146	81	112	120
	定点当たり	1.18	0.60	0.53	0.79	0.67	0.89	0.64	0.43	0.54
咽頭結膜熱	報告数	802	166	15	5	10	56	22	25	33
	定点当たり	0.26	0.17	0.20	0.10	0.19	0.34	0.17	0.10	0.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	6,098	2,127	340	92	44	394	327	580	350
	定点当たり	1.96	2.23	4.53	1.92	0.85	2.40	2.57	2.21	1.57
感染性胃腸炎	報告数	28,141	9,046	521	324	586	1,687	1,236	2,823	1,869
	定点当たり	9.04	9.50	6.95	6.75	11.27	10.29	9.73	10.73	8.38
水痘	報告数	995	459	23	15	19	126	30	130	116
	定点当たり	0.32	0.48	0.31	0.31	0.37	0.77	0.24	0.49	0.52
手足口病	報告数	133	31	2	1	-	7	3	10	8
	定点当たり	0.04	0.03	0.03	0.02	-	0.04	0.02	0.04	0.04
伝染性紅斑	報告数	2,074	868	51	86	41	213	155	167	155
	定点当たり	0.67	0.91	0.68	1.79	0.79	1.30	1.22	0.63	0.70
突発性発しん	報告数	545	165	18	14	12	25	27	30	39
	定点当たり	0.18	0.17	0.24	0.29	0.23	0.15	0.21	0.11	0.17
ヘルパンギーナ	報告数	20	9	-	1	-	2	3	3	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	0.02	-	0.01	0.02	0.01	-
流行性耳下腺炎	報告数	101	40	2	1	2	9	5	5	16
	定点当たり	0.03	0.04	0.03	0.02	0.04	0.05	0.04	0.02	0.07
急性出血性結膜炎	報告数	56	17	-	1	-	16	-	-	-
	定点当たり	0.08	0.08	-	0.08	-	0.38	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	579	213	65	9	11	23	30	23	52
	定点当たり	0.83	1.02	3.82	0.75	0.79	0.55	0.86	0.59	1.04
細菌性髄膜炎 #2	報告数	8	1	-	-	1	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	0.11	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	14	4	-	-	1	1	-	-	2
	定点当たり	0.03	0.05	-	-	0.11	0.08	-	-	0.15
マイコプラズマ肺炎	報告数	129	22	2	2	7	5	2	2	2
	定点当たり	0.27	0.25	0.15	0.29	0.78	0.42	0.22	0.08	0.15
クラミジア肺炎 #3	報告数	3	2	-	-	-	1	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.08	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数	96	27	1	3	5	9	9	9	-
	定点当たり	0.20	0.31	0.08	0.43	0.56	0.75	-	0.36	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

感染症発生動向調査  
2025年

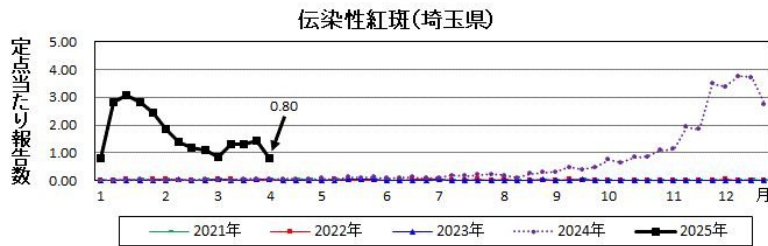
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第13週](#)

## 感染症の流行状況 2025年 第14週

2025年第14週（3月31日～4月6日）の要点

[伝染性紅斑](#)の定点当たり報告数は0.80で、前週と比較して減少したものの、やや多い状況にあります。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	→	★★	<a href="#">手足口病</a>	→	★
<a href="#">新型コロナウイルス感染症</a>	↓	—	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	↓	★★★★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	↓	★★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	→	★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	→	★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↓	★★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	↓	★★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	↓	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★★→大きい) \*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数が変更となりました。

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」でご覧になれます。



埼玉県のマスコット コバトン